

第2回 信州上田地域 健康パーク(上田地域型ヘルスツーリズム)推進協議会 中間整理 【鹿教湯温泉エリア】

暫定版
H31.2.26 現在

注) **斜体文字** は、上田市丸子地域自治センターが考える優先的事項
注) **二重下線** は、(一社)信州上田観光協会が考える優先的事項

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ

	取組検討事項	主に行政(県、市等)が主体となること	⇔ 本会が取り組むべきこと	⇔ 主に観光協会や地域住民、企業等に取組を期待すること	未定(要検討)
医療・病院との連携	<p>●医療・健康づくり</p> <p>■精神・身体の「安らぎの提供地」に (未病・予防等、健康増進の観点から) □食の充実等、介護疲れを癒し家族皆で楽しめる場所に</p> <p>■回復期の方が元気を取り戻し社会に帰っていく地域に □キャッチフレーズ 「病院に戻らない(戻らなくて済む)魔法のお湯がある」</p> <p>■誰もが安心して過ごせる(足腰が弱った人も暮らしやすい)インフラ整備 □“地域内に病院がある”という安心感から訪れている観光客が多い □ベッド、トイレ(洋式化)</p>	<p>* 元気づくり支援金(以下、記載省略)</p> <p>* 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(宿泊施設インバウンド対応支援事業)《観光庁》</p>	<p>* 本会としての情報発信の方法を検討し、継続的な情報発信を実施する。【鹿教湯】</p> <p>* 県(振興局)HP内コーナーの充実 * マップ・パンフレットの作成 その他 * 構成員間の情報共有 * 協議会における検討・検証 * 先進事例の研究、先進地視察 * 関係団体等への働きかけ * 各種助成制度の周知・利用促進 * 構成団体実施イベント等への協力・参加など</p>	<p>* 地域住民や各組織で取り組んでいる、地域や組織内での「健康づくり」の取り組みを推進する。 (地域住民の健康づくりに取り組む様子を発信する)</p> <p>* 団体バスツアー 鹿教湯病院の療法士さんの全面協力が必要。 物忘れ(認知症予防)等その世代が心配する方々に対する講義をゲーム感覚で旅館の広間等に於いて開催。 半日コースを座学+スイム+ポールウォークで3時間程度のプログラムを作る。 1日コースを充実させて6~7時間程度で商品化する。(有料) 半日は1泊、1日コースは2泊の需要の開発【上田観光協会】</p>	
	<p>●鹿教湯病院との連携</p> <p>■地域と病院との連携態勢を整える □「泊まりの人間ドックは旅館で」県外だけでなく市内でもっとPR □病院とのコラボによる「健康」の研究</p> <p>■地域の独自性に繋がる、病院の充実化 □設備の維持・更新 □保険外の自由診療による、新しいリハビリテーションの実施・提供 □菅平地域との連携 スポーツ合宿参加者(滞在早期の負傷者等)の受け皿として、スポーツ・リハビリテーションを実施</p>		<p>* 制度の周知 * 協議会における検討【丸子自治C】</p> <p>* 人間ドック等における病院と旅館ホテルとの連携強化策の検討</p>	<p>* 鹿教湯病院での人間ドック受診を宿泊のみとする (宿泊料金はお得な料金にし、翌朝のクアハウスかけゆさんの朝の体操に参加しやすい導線づくり)</p> <p>* もの忘れドックの実施 * インバウンド向け人間ドックの検討【丸子自治C】</p>	
	<p>●クアハウスの活用</p> <p>■地域における施設の活用 □特殊で恵まれた環境を認識し活かす □「スイミング環境のある移住先」としての検討 □上田地域の他の様々な福祉施設と連携して良さを活かしていく方法の検討 □地元以外の利用増</p> <p>■PRを強化すべき点(強み) □完全かけ流し □パーデゾーン □塩素アレルギーの方に優しい □スイム・ウォーク用のコースが十分に確保 □水着着用施設(外国人観光客、混浴を要する方に)</p> <p>■施設・サービス等の充実 □トレーニングルームの新たな利活用策 □女性客をターゲットに「美容」プランを組む →例)箱蒸風呂にハーブを入れる □案内看板</p>	<p>* 「健康長寿世界No.1」を目指す長野県としてのヘルスツーリズム推進を県外に向けて発信するための取り組み事例を各地に発信する準備を行う。 【鹿教湯】</p>	<p>* 開催の周知【丸子自治C】</p> <p>* クアハウス主催イベント等への参画・広報協力</p>	<p>* 鹿教湯病院、鹿教湯温泉内の旅館等を利用した方はお得にクアハウスかけゆを利用できるキャンペーンを実施する。 * クアハウスかけゆに興味を持ってもらえるような営業宣伝を実施する。</p> <p>* アクアポールエクササイズの実施 * 産・学との連携事業【丸子自治C】</p>	

	取組検討事項	主に行政(県、市等)が主体となること	⇔ 本会が取り組むべきこと	⇔ 主に観光協会や地域住民、企業等に取り組む期待すること	未定(要検討)
温泉×健康(スポーツ)等の取組	<p>●観光振興・経済効果創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健康づくりや運動の指導者が多い現状を活用 <ul style="list-style-type: none"> □地域住民への指導を充実 □指導員の研修の場としていく ■フレイル(予備軍)、健康意識の高い高齢者層をターゲットに ■インバウンド向け「療養型ツアー」の検討 ■温泉・医療の独自性や「健康づくりの地」として進めてきた先行活動の強みを活かす <ul style="list-style-type: none"> □メンタルヘルス・禅・内湯巡りなど □「健康グッズ」を旅館で試用させ売上に繋げる ■マラソンやサイクリング競技の中継地点としての利用 ■企業の社員厚生事業担当セクションへの働きかけ(営業) ■地域で使えるポイント制度の検討 <p>●コンテンツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ■街歩きを楽しみを伝える案内看板の工夫 <ul style="list-style-type: none"> □目立つ色分け □統一性 □視点を交えて眺める体験型看板(文殊堂などに設置) □消費カロリーが分かる □手ぶらで歩ける(設置地図看板の充実) □季節に合わせた内容 ■「内湯巡り」を新しい特色に ■女性客をターゲットにした「美容」プラン ■文殊堂を、心の癒しとして更に活用 ■テーマ・ストーリー性のある企画を実施 <ul style="list-style-type: none"> □スタンプラリーや御朱印巡り □他地域と連携して □観光案内所でステッカーや割引券を交付 <p>●ハードの整備(他地域連携含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■他地域(別所温泉など)とを繋ぐ、遊歩道の整備 ■トレイルラン(他地域とトレイルしながらマップを作成) ■自転車コースの広域的整備 ■ランニングコース(の整備) <p>●他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツと湯治場の横のつながり <ul style="list-style-type: none"> □管平地域等と連携し、スポーツ合宿参加者(滞在早期の負傷者等)の受け皿として、スポーツ・リハビリテーションを実施【再掲】 	<p>*長野県内周遊バスツアー支援事業《県観光機構》</p> <p>*長期滞在、宿泊場所発着の日帰りツアーに焦点を絞って、「信州上田地域健康パーク」内の観光地を巡るようなキャンペーンを実施する。【鹿教湯】</p> <p>*フレイル予防総合推進事業(宿泊事業者等への普及啓発)《保健福祉事務所》</p> <p>*信州創生推進資金(地域活性化向け)《県融資制度》</p> <p>*文化財多言語解説整備事業費補助金《文化庁》</p> <p>*地域観光資源の多言語解説整備支援事業《観光庁》</p> <p>*森林づくり県民税活用事業</p>	<p>*周遊プランの造成</p> <p>*パンフレット作成【青木村】</p> <p>*イベントでの成果やその情報をブログ等で公開し、そのブログをSNSなどを用いて共有し、拡散していく。【鹿教湯】</p> <p>*開催の周知</p> <p>*協議会におけるプランニングの検討【丸子自治C】</p> <p>*ポールウォーキングイベント(仮)への参画(観光案内ブース・アルクマ出演等)</p> <p>*県(振興局)HP内コーナーの充実【再掲】</p> <p>*マップ・パンフレットの作成【再掲】</p> <p>*周遊ツアー(モニターツアー)造成の検討</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> *構成員間の情報共有 *協議会における検討・検証 *先進事例の研究、先進地視察 *関係団体等への働きかけ *各種助成制度の周知・利用促進 *構成団体実施イベント等への協力・参加 *開催の周知 *協議会における効果的サインの検討【丸子自治C】 <p>*街歩き周遊コースや登山道への案内標識策定に係る地元協議等への参画・支援</p> <p>*他地域との連携の調整【丸子自治C】</p> <p>*森林づくり県民税活用事業実施に向けた助言・支援</p> <p>*アクティビティ実施地域と宿泊地との連携強化策の検討</p>	<p>*「健康経営」に取り組む企業への営業・宣伝を実施する(今まで実施してきた取り組みを営業キーワードとして用いる)</p> <p>*人手不足で営業ができないところは各域内でのつながりを活かしていく。</p> <p>*ボードゲームによる温泉地活性化</p> <p>*忍者ライドの実施</p> <p>*三者協定による温泉を活かした健康づくりの取組</p> <p>*インバウンド向け観光プランの検討【丸子自治C】</p> <p>*五島慶太が創業・創立した企業等への呼びかけ【青木村】</p> <p>*各地域や組織において経費が掛かりすぎない範囲で、コンテンツの充実を行う(世間の流行に乗っていく流れが一番良いかと)。</p> <p>*女性のコミュニティー力を活用した、口コミ戦略の企画。</p> <p>*各温泉地を巡るきっかけをつくるキャンペーンを実施する。</p> <p>*体験型イベントの企画</p> <p>*学との連携による案内サインの作成【丸子自治C】</p> <p>*トレイルラン、自転車ランニングなどの練習がしやすい環境をつくる。</p> <p>*同時に利用してもらうためのキャンペーンまたは営業・宣伝を実施する。</p> <p>*21番所巡り施設の整備【丸子自治C】</p>	

	取組検討事項	具体策等	主に行政(県、市等)が主体となること	⇔	本会が取り組むべきこと	⇔	主に観光協会や地域住民、企業等に取り組む期待すること	未定(要検討)
食	●安心した食事を提供できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■健康別(病気別)アプローチ <ul style="list-style-type: none"> □「〇〇病対策」メニュー、「〇〇」プラン ■食事別のカロリー(栄養)計算 ■地域の旬の食材を用いて「健康」と繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> * 信州食育発信3つの星レストラン推進事業 * 世代別健康に配慮したメニューの開発・普及事業《保健福祉事務所》 	⇔	<ul style="list-style-type: none"> * 会議の際に、それぞれの地域の「旬」のお土産などを持ち寄って会議を行う。【鹿教湯】 * 活動のPR * 協議会における活性化策の検討【丸子自治C】 	⇔	<ul style="list-style-type: none"> * 地域の「旬」を用いて、営業宣伝を実施する。 * その地域独自の食材や料理を推した営業・宣伝を実施する。 * その季節や、各自治体が推す旬を活用して営業宣伝を実施し誘客を行い、自然に健康につながるような仕組みづくりを根付かせる。 * 各地域での居酒屋等を利用する導線を作り、地域を歩かせる仕組みづくりを実施する。 	
	●多様な食の提供の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■地域オンリー若しくは代表産物の利用・開発 <ul style="list-style-type: none"> □鹿教湯オリジナルの酒・水の生産・販売 □地元学生の企画デザインによるパッケージ製作 ■自然環境(川、水、森、緑)を活かした食の提供 <ul style="list-style-type: none"> □ハンモック・ロッキングチェアの設置 □読書、テイクアウト可能 □川を眺めながら、湧水で立てたコーヒーを楽しめるカフェ □野菜・果物スムージーの店舗販売 ■ジビエ活用でインパクトある食の提供を <ul style="list-style-type: none"> □食肉解体処理用トラックの活用 □美味しいジビエの「鹿」 □長野県を利用価値の高い「馬肉」の産地に ■ワイナリーと連携(温泉地とワインを結びつける) ■食の提供の場の確保 <ul style="list-style-type: none"> □地域食材を扱った商品販売のツールとして未利用ホテル等を活用 □旅行スタイルの変化(泊食分離)に対応 	<ul style="list-style-type: none"> * 各地域での「旬」の食材をPRしていくキャンペーンを実施する。 * 「旬」の食材を試食する会やその地域の「旬」をPRしていく。【鹿教湯】 * ブログ等への掲載《振興局》 		<ul style="list-style-type: none"> * 地域や事業者が企画するワイナリー周遊ウォーキングやアグリツーリズム等への支援 その他 <ul style="list-style-type: none"> * 構成員間の情報共有 * 協議会における検討・検証 * 先進事例の研究、先進地視察 * 関係団体等への働きかけ * 各種助成制度の周知・利用促進 * 構成団体実施イベント等への協力・参加など 		<ul style="list-style-type: none"> * お米のお兄さんプロジェクト * マリコワイナリーとの連携による活性化策の展開【丸子自治C】 	
	●食の研究	<ul style="list-style-type: none"> ■多方面の関係者との研究を通じた価値創出 <ul style="list-style-type: none"> □美味しい食事、農業体験(ワイン特区)など □スターリングエンジンを活用したイチゴの生産 					<ul style="list-style-type: none"> * 信州の「食」を謳うために著名な料理家さんとのコラボをする。 * ワイナリー巡りやその地域での仕事を体験するツアーの企画 * 鹿教湯温泉と交流のある料理関係者との連携【丸子自治C】 	
交通	●二次交通等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■旅館共同による上田駅間の送迎バス運行 ■松本空港⇔鹿教湯⇔別所⇔上田を運行するバスの増便 <ul style="list-style-type: none"> □相互乗り入れを可能に □現状の一日二便の運航ではだめ ■現有道路の動線改善 ■地下鉄や佐久国際空港の開設 	<ul style="list-style-type: none"> * バス利用を促すキャンペーンの実施 * バスを利用しない人がバスを利用するようなキャンペーンの実施【鹿教湯】 	⇔	<ul style="list-style-type: none"> * 車など素通りになりそうな各地域の場所をピックアップして、発信を実施していく。(バス利用などを推進するような情報発信)【鹿教湯】 その他 <ul style="list-style-type: none"> * 構成員間の情報共有 * 協議会における検討・検証 * 先進事例の研究、先進地視察 * 関係団体等への働きかけ * 各種助成制度の周知・利用促進 * 構成団体実施イベント等への協力・参加など 	⇔	<ul style="list-style-type: none"> * 三才山トンネル無料化(予定)に伴う鹿教湯への誘客キャンペーンを実施する(バスの増便、観光地または温泉地への導線の強化) * 観光協会、旅館組合との連携による二次交通充実へ向けた検討【丸子自治C】 	
	●有料トンネル無料化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■誘客の流れの変化に対応したプランの売り込み ■地の利(松本～上田)を活かした利用促進 			<ul style="list-style-type: none"> * 松本方面からの誘客キャンペーンを実施する。 * 平井寺トンネル無料化による誘客 * 三才山トンネル無料化へ向けた取組【丸子自治C】 			

	取組検討事項	具体策等	主に行政(県、市等)が主体となること	⇔	本会が取り組むべきこと	⇔	主に観光協会や地域住民、企業等に取組を期待すること	未定(要検討)
情報発信	●発信の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■健康(特にスポーツ)、湯治場、観光という鹿教湯のイメージを、再度、多くの方に知って貰う取組が必要(栄えていた時を知る人が少なくなっている) ■(個別の旅館毎でなく)地域一丸となった発信力の強化 			<ul style="list-style-type: none"> *協議会における効果的情報発信の検討【丸子自治C】 		<ul style="list-style-type: none"> *各温泉地の「旬」のキーワードを用いて、県内外へ発信する。 *観光協会、旅館組合との連携による多様な情報発信方法の検討【丸子自治C】 	
	●発信内容	<ul style="list-style-type: none"> ■海外に向けて「温泉保養地」を ■「スイミング環境のある移住先」として ■車椅子でも多くの方が泊まれる「人にやさしい地域」 ■写生が盛んに行なわれるくらい、美しい情景が広がる地域 ■800年の歴史(特に前半) ■「鹿」をもっとPR <ul style="list-style-type: none"> □温泉に鹿を入れる □鹿の被り物を被って温泉に浸かりPR □鹿の被り物を風呂場に設置(SNSで拡散) ■紅葉橋・みどり橋の説明(ストーリー) ■天竜寺 龍の天井絵を寝転がって見るススメ ■吊り橋の揺れを体感 	<ul style="list-style-type: none"> *1998年のオリンピックパラリンピックを開催した長野県だからこそできるスポーツ・健康に焦点をあてたPRを実施する。【鹿教湯】 		<ul style="list-style-type: none"> *「信州上田地域 健康パーク」に所属している各組織団体の協力を頂きながら、各観光地の旬や取り組みを積極的にPRしていく。【鹿教湯】 	<ul style="list-style-type: none"> *鹿教湯の場合、ドイツのバーデンバーデンの特徴を活用しているため日本にもドイツと同じようなところがあるという営業宣伝を海外へ向けて実施する。 *長野県ならびに鹿教湯温泉の歴史を世界へ向けて発信する。(減塩活動、保健補導員、集団保養、農村医療などの歴史を外部に向けて) *地域おこし協力隊による情報発信【丸子自治C】 		
	●発信方法	<ul style="list-style-type: none"> ■若者向けの写真映えスポットの売り込み <ul style="list-style-type: none"> □インスタ映えする写真のSNS発信 ■鹿教湯入口トンネル内をPR空間として利用 ■目立つ案内看板の設置検討 <ul style="list-style-type: none"> □ジャンルごとに色分け(グルメ情報なら△△色) 			<ul style="list-style-type: none"> *活動のPR【丸子自治C】 *県(振興局)HP内コーナーの充実【再掲】 *マップ・パンフレットの作成【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> *SNSはスマートフォンを利用若者向けへの情報発信として用いる。 *TVメディアは家や病院にいる高齢者や社会人への情報発信として用いる。 *長野大学による鹿教湯温泉入口の装飾によるPR【丸子自治C】 	<ul style="list-style-type: none"> その他 *構成員間の情報共有 *協議会における検討・検証 *先進事例の研究、先進地視察 *関係団体等への働きかけ *各種助成制度の周知・利用促進 *構成団体実施イベント等への協力・参加など 	
その他	●災害が少ない地域としての特色を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ■防災拠点的地域としての指定 ■他地域との防災協定締結(→交流の強化) 	<ul style="list-style-type: none"> *災害などが少ないことをPR【鹿教湯】 		<ul style="list-style-type: none"> *災害が少ないということを付加価値としても捉えていく。【鹿教湯】 	<ul style="list-style-type: none"> *災害が少ない、晴天率が高いということも情報発信に用いる。 *メディア旅行会社向けとした時の各旅館さんの受け入れの調整 		